


分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
5年後の目標		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	健康づくり教育事業		会計	款	項	708,703	健康医療推進室
			一般	4	1		
事業の概要							
「自分の健康は自分で守る」という意識と行動の浸透のため、生活習慣病や要介護状態の予防等の知識の普及を図り、健康意識を高めます。市民全体へのポピュレーションアプローチ及び個々への動機づけとなるよう従来の健康教育に、更に情報配信の方法や内容の工夫を行い、市民の健康増進に努めます。							


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	健康づくり啓発事業の参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	7,100(平成26年度)	目標	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
		実績	12,359	14,442			
	指標	広報・ホームページ等による健康情報の配信回数				単位	回
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	22(平成26年度)	目標	23	24	25	26	27
		実績	25	28			
	<ul style="list-style-type: none"> 保健師や管理栄養士等が訪問で使用する自転車の前かごや、新生児訪問時に体重計を入れて保健師が背負うリュックサックに健康情報やがん検診の案内等のポスターを取り付け、市民に情報を発信しました。 健康増進普及月間に合わせて、市役所庁舎・保健センターの階段に健康づくり啓発として階段アートで、市民に情報を発信しました。 若い世代が集まる体育協会のイベントで、健康情報の発信、検診等の啓発を行いました。 医師によるながおかきょう健康塾「血管イキイキ講座」を開催し、108人が参加しました。 肺がん検診実施日に、「血管年齢測定会」を2日間同時開催し、268人が参加しました。 広報、ホームページ、検診会場、子育て相談会、乳幼児健診などあらゆる機会を活用して、健康づくりについて情報発信を行いました。 						自転車の前かごを利用した情報発信 

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。	196
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> イベント参加、集団がん検診、新生児訪問、乳幼児健康診査など、市民との対面が可能な機会を活用し、積極的に保健指導、情報発信を行った結果、健康づくり啓発事業の参加者数は目標数を大きく上回りました。 広報・ホームページ等による健康情報の配信回数も昨年度より増え、目標数を上回りました。 	
課題等	今後さらに参加者数を増やすため、今まで健康づくりに無関心であった層へ働きかける方法を考えていく必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> 広報・ホームページや当室の事業でアプローチできない層を含め、健康に関する情報を広く発信していくために、市民が集まる既存のイベントや集会等に出向き、啓発を行う機会を増やしていきます。 健康づくり無関心層に健康づくりに関心を持ってもらえるよう、新たな啓発内容、方法を検討していきます。 事業対象者への個人通知や訪問活動での啓発を継続していきます。

分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
5年後の目標	「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	成人健康診査・がん検診事業		会計	款	項	目	67,100,003	健康医療推進室
			一般	4	1	4		
事業の概要								
<p>健診・検診の受診勧奨やがん予防及び疾病予防の啓発を実施します。 国や京都府との連携や受診体制の更なる充実を図り、新たな健診・検診受診者の増加や定着を促進します。 また、歯科口腔を健康に保ち生活習慣病予防につなげるために、歯周疾患検診等の充実を図ります。</p>								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	大腸がん検診受診率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	23.1(平成26年度)	目標	23.5	24.0	24.5	25.0	25.0
		実績	22.6	21.1			
	指標	乳がん検診受診率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
18.9(平成26年度)	目標	19.0	20.0	22.0	23.0	25.0	
	実績	19.5	18.2				
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の個別通知時のちらしに、がん検診の申し込み書を掲載して検診の申し込みを促しました。 ・イベント、健康教室、新生児訪問での受診の啓発や、がん検診啓発うちわを作成し、市役所内の窓口に設置し、がん検診受診の啓発を行いました。 ・国の「がん検診推進事業」等において乳がん検診40歳、子宮がん検診20歳の対象者に検診無料クーポンを送付するほか、未受診者に対して再勧奨通知を行いました。 ・平成29年度も引き続き、乙訓以外の医療機関でも乳がん検診が受診できるようにしました(京都府管外乳がん検診受診制度)。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成29年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント、健康教室等の機会や、無料クーポン券の送付等で、がん検診受診の啓発を行い、目標をほぼ達成しました。 ・乳がん、子宮がん検診無料クーポン送付後に未受診者に対して再受診勧奨を通知したことにより、通知後に受診者が増加しました。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・受診率が目標に達するよう、更なる啓発が必要です。健康無関心層に検診の受診勧奨を行い、検診受診へつなげていくことが課題です。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、インターネット等での申し込みがしやすいようにします。 ・歯のひろば等のイベントや市民が集まる既存のイベント等に出向く機会を増やし、受診を啓発し、その場で申し込み受付を行います。 ・引き続き、京都府の健康づくりモデル事業と連携し、身近なコンビニエンスストア駐車場で肺がん検診を実施します。 ・受診者の利便性を図るため、乳がん検診の個別検診の受け入れ人数を増やしていきます。 </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、インターネット等での申し込みがしやすいようにします。 ・歯のひろば等のイベントや市民が集まる既存のイベント等に出向く機会を増やし、受診を啓発し、その場で申し込み受付を行います。 ・引き続き、京都府の健康づくりモデル事業と連携し、身近なコンビニエンスストア駐車場で肺がん検診を実施します。 ・受診者の利便性を図るため、乳がん検診の個別検診の受け入れ人数を増やしていきます。
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、インターネット等での申し込みがしやすいようにします。 ・歯のひろば等のイベントや市民が集まる既存のイベント等に出向く機会を増やし、受診を啓発し、その場で申し込み受付を行います。 ・引き続き、京都府の健康づくりモデル事業と連携し、身近なコンビニエンスストア駐車場で肺がん検診を実施します。 ・受診者の利便性を図るため、乳がん検診の個別検診の受け入れ人数を増やしていきます。 				

分野	21	保健・医療
施策	211	健康づくりの促進
5年後の目標		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	食育推進事業		会計	款	項	—	健康医療推進室
			—	—	—		
事業の概要							
<p>家庭、保育所、学校、地域において様々な機会に、食生活と栄養についての知識の普及及び地産地消を推進し、地域社会の活性化、豊かな食文化の継承に取り組み、第2次食育推進計画に従って事業を推進します。</p> <p>また、長岡京市食育推進委員会の構成団体を増やします。</p>							

平成29年度の取組								
D (取組)	指標	市内小学6年生の朝食欠食率					単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
		目標	2.1	1.6	1.1	0.5	0.0	
	2.8(平成26年度)	実績	2.7	4.1				
<p>・「学べる食育ひろば」として、9月2日(土)に中央公民館でヘルシーで満足感のある食事をテーマに講演会を開催し、大人202人が来場しました。講演会に加えて体組成計測、食に関する保育園児の絵の展示、食育関連団体活動紹介(展示)を行いました。</p> <p>・「体験できる食育ひろば」として、6月24日(土)に保健センターで開催した「歯のひろば」会場で菓子等に含まれる糖質量と減塩に関する展示、「かみかみレシピ」の配布を行い、11月12日(日)の「長岡京ガラシャ祭2017」勝竜寺城会場にて、野菜スタンプ及び野菜のクイズを行いました。両会場合わせて大人214人、子ども163人が参加しました。</p> <p>・食育の推進と心身の健康増進を図るため、各種健康教室などを通じて、ライフステージに応じた食生活と栄養についての知識の普及啓発を行いました。</p>						学べる食育ひろば		
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<p>・食育ひろばを講演会形式と体験形式に分けて実施しました。</p> <p>・朝食の欠食率については、ライフスタイルの多様化により、就寝時間が遅くなる傾向にあるため、朝食に対する食欲や時間などが無くなりがちであり、目標は達成できませんでした。</p> <p>・講演会では、10～80歳代の幅広い年齢層の方に食育について啓発できました。</p> <p>・食育ワーキングや食育推進委員会を中心に、地域の地産地消推進協議会や生活改善クラブ等の団体、京都府(乙訓保健所、京都乙訓農業改良普及センター)、総合計画推進課、こども福祉課、学校教育課、農林振興課等の食に関わる庁内各課と連携・協働して進めました。</p>
課題等	<p>・朝食の大切さについては、小学校、保育所等での食育の取り組みや、乳幼児健診等で継続して啓発していますが、ライフスタイルの多様化による影響が大きいと考えます。</p> <p>・食育の効果を得るには、長期にわたって継続して働きかける必要があるため、引き続きあらゆる機会を捉えて効果的な工夫をしながら啓発する必要があります。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	2:進め方の改善の検討が必要	<p>・今後も食に関わる関係団体や、庁内各課と連携・協働し食育を推進します。</p> <p>・子どもの朝食欠食率を低下させるため、平成30年度は特に、子育て世代の市民等に向けて、幼少期からの食育の大切さについての講演会を通して啓発を行います。</p>